

科目名	漫画「フラジャイル」を読んで、病理医と病理について学ぼう
-----	------------------------------

担当 責任者	松田 育雄	所属	病理学 病理診断部門 (病院病理部)	職名	准教授
-----------	-------	----	-----------------------	----	-----

到達目標 (アウトカム)	漫画のポイントとなっている病理所見や病理診断を自分の言葉で説明できる。 講義や教科書にない、病理学の背景や最新知識を知り、知識を有機化できる。 病理診断・病理医という職業・学問に関して、興味や面白みを感じる。
-----------------	--

【1. 授業概要】

<p>皆さんは、「フラジャイル」という漫画をご存じでしょうか。 この漫画は「病理医」が主人公の漫画です。 皆さんは「病理医」という職業をご存知でしょうか。 病理医とは、直接患者の治療にはあたりませんが、患者の体から採取された「検体」(例えば胃カメラで採取された胃粘膜の断片など)を主に顕微鏡で観察して、病気の診断(病理組織診断といいます)をする医者のことを言います。例えば胃カメラで採取された胃粘膜なら、それが「胃炎」なのか、「胃癌」なのかを病理診断し、患者の受け持ち医に伝えます。「胃炎」と「胃癌」では、患者の予後も治療方針も全く異なります。従って病理医の仕事は責任重大です。しかし同時に、臨床医に治療方針の根拠を示すという意味で、病理医の仕事はとてもやりがいがあります。</p> <p>この漫画「フラジャイル」では、いろいろな疾患の病理診断がストーリー上のポイントになっています。この講座ではこの漫画と一緒に読みながら、これらの病理所見や診断を、わかりやすく説明します。病理診断・病理医の紹介を通じて、広く学問の面白さを感じていただき、今後どのように医学を学んでいくと楽しいか、アドバイスしたいと思います。</p>

【2. 履修学生の心構え】

<p>この講座の目的は2つあります。 1つは、この漫画を読んで、病理医とはどういう職業か、考えていただくことです。全ての病理医がこの漫画の主人公のような感じだと思われるかもしれませんが、しかし病理診断の責任の重要性和やりがいはうまく表現していると思います。 もう1つは、病理の勉強のきっかけをつくることです。漫画のストーリーの中でいろいろな「キーワード」が登場します。例えば、「小円形細胞腫瘍」「DSRCT」「NET」「ソマトスタチンアナログ」「Crohn病」「生物学的製剤」「結核」「Adenoma malignum」「FAP」など。これらの病理キーワードをストーリーの中で取り上げて、「なぜストーリーのポイントになっているのか」という観点から「何が医学の勉強のポイントなのか」を一緒に考えることにより、今後講義や教科書で勉強する際のメルクマールとなることを期待します。また「現在どこまでわかっていて何が問題となっているのか」、さらに、「まだ教科書にはのっていないが、臨床実地ではすでに問題になっている最新知識」を紹介して、講義や実習ではできない、皆さんの今後の動機づけを行いたいと思います。できるだけ皆さんの意見を取り入れて、試行錯誤しながら進める予定です。</p>

【3. 成績の評価方法・基準】

<p>毎回、学習目標を提示し、それに対応した次回までの課題を与えます。 次回、その課題を提出していただき、その課題に関する簡単な評価テストを行います。 最終回に全体を振り返るとともに、全体に関する簡単な評価テストを行います。 授業への取組みや授業への積極的な参加(10%)、課題(10%)、簡単な評価テスト(80%)で評価します。</p>

【4. 教科書・参考書】

特にありませんが、下記の5で記したように、不正確に伝わることを恐れるので、必ず後でロピンス基礎病理学及びそのアトラスなどの教科書で詳細を確認してください。

【5. その他 履修要件、履修者へのコメント等】

- # 通常の講義や教科書ではわかりにくいポイントを、やさしい言葉で、別の切り口で説明します。
- # ある意味では「先取り」の内容で、細かい知識で迷路にはまり込んでしまう前に、医学の全体像やポイントをまず俯瞰し、面白さを感じてもらうものです。
- # そのため、「医学の面白さを感じたい気持ち」が特に強い方に受講していただくことを希望します。
- # 不正確に伝わることを恐れるので、必ず後で教科書で基本知識の詳細を確認してください。
- # アンプロフェッショナルな方は単位取得できない可能性もあります。

授 業 計 画 (月曜開講分用)

実施日	時限	講義・実習内容	担 当 教 員		
			氏 名	職 名	所 属
全 8 回	1	4/13 月 5 「フラジャイル」第2話： small round cell tumor (その1) 学習目標: 1) 疾患診断の3つのポイント 2) 病理組織診断における「上皮 vs. 非上皮」	松田育雄	准教授	病理学 病理診断部門 (病院病理部)
	2	4/20 月 5 「フラジャイル」第2話： small round cell tumor (その2) 学習目標: 1) 疾患診断の3つのポイント 2) 病理組織診断における「上皮 vs. 非上皮」	松田育雄	准教授	病理学 病理診断部門 (病院病理部)
	3	4/27 月 5 「フラジャイル」第8話： 家族性大腸腺腫症 学習目標: 1) 遺伝性・家族性腫瘍: 特徴 2) 遺伝性・家族性腫瘍: 「発見」のヒント	松田育雄	准教授	病理学 病理診断部門 (病院病理部)
	4	5/11 月 5 「フラジャイル」第3話： 神経内分泌腫瘍 (その1) 学習目標: 4つの抗腫瘍治療の変遷と長短所	松田育雄	准教授	病理学 病理診断部門 (病院病理部)
	5	6/8 月 5 「フラジャイル」第3話： 神経内分泌腫瘍 (その2) 学習目標: 4つの抗腫瘍治療の変遷と長短所	松田育雄	准教授	病理学 病理診断部門 (病院病理部)
	6	6/15 月 5 「フラジャイル」第7話： Crohn病、生物学的製剤、結核 (その1) 学習目標: 1) 炎症と腫瘍の関係 2) 治療における「免疫状態把握」の重要性	松田育雄	准教授	病理学 病理診断部門 (病院病理部)
	7	6/22 月 5 「フラジャイル」第7話： Crohn病、生物学的製剤、結核 (その2) 学習目標: 1) 炎症と腫瘍の関係 2) 治療における「免疫状態把握」の重要性	松田育雄	准教授	病理学 病理診断部門 (病院病理部)
	8	7/6 月 5 総括	松田育雄	准教授	病理学 病理診断部門 (病院病理部)